

5月の予定

【けやき】

- 10日 職員会議
- 14日 福祉まつり
- 20日 土曜日活動
- 24日 職員会議

【はるか】

- 6日 合同BBQ(予定)
- 14日 福祉まつり
- 26日 京葉銀行本店販売

【おおばん】

- ※ゴールデンウィーク開所
- 10日 職員会議
- 13日 土曜日活動
- 24日 職員会議

【ふれんず】

- 1日 特別おやつ
- 12日 特別おやつ
- 18日 特別おやつ
- 24日 特別おやつ
- 30日 特別おやつ

【グループホーム】

- (空・太陽)
- 会議：日程未定
- 第1土曜日：運動の日
- (地球)
- 会議日程未定

【本部・公益事業】

- 〈こほく子ども食堂〉
- 20日 はるか北口
- 〈夜間中学〉
- 毎週金曜日
- (はるか北口)

1994年8月24日発行（毎月12回2・4・6・8の日）
第三郵便物承認

2023年4月18日発行（毎月12回2・4・6・8の日）
通巻第5331号
川口市元郷1-0-13 頒価 50円
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会
郵便振替 001000-8141223

～ そよ風のように街に出よう～

S S T L



社会福祉法人つくばね会
 代表 千葉県我孫子市都部新田37-2
 TEL 04-7187-1944
 FAX 04-7187-1947
 HP <http://tukubanekai.sakura.ne.jp/>
 編集・発行：けやき社会センター・はるか
 おおばん・ふれんず

まさかの土曜日活動顛末記(てんまつき)

利用者の皆さんが楽しみにしている2月の土曜日活動は、初めて工場見学を企画しました。行き先は野田にあるグリコの工場グリコピア。21の方が参加を希望し、お昼も近くの中華屋さんの広間を予約していて、お土産のパピコを楽しみに当日を迎えました。ところが朝9時グリコから電話が入り、工場のトラブル発生により本日の見学は中止しますとの突然の悲しい知らせ。ガーン！！みんなに合わせる顔がない・・・と途方に暮れかけましたが、けやきに集まった職員が思いつくお出かけ先をあたり、常総市にあるあすなろの里に出かける事にしました。利用者のみなさんは中止と聞いて残念がっていましたが、いざバスに乗ると遠足気分になり、野田までラーメンセットを食べに16号線をドライブ、そのあとあすなろの里に到着です。

さて園内を散策、正門をくぐり竹林を下ると淡水魚のいるミニ水族館、その先にアルパカ、プレーリードッグ、リスザルなどが待っていてエサをあげる人、カメラに収まる人、それぞれ動物とふれあって歓声があがりました。季節柄おひなさまの展示を見たり、キッチンカーのクレープをほおばったり、販売機のアイスを食べたりグリコ見学に劣らぬ楽しい時間を過ごせたとと思います。

久しぶりにワイワイ大勢で車に乗り、食事し、散歩ができてみなさんの笑顔がたくさん見られた事がお土産です。さて、中止になった見学ですが、優先的に予約を受け付けてくれるとか。次回の報告はグリコピア見学編？です。乞うご期待。

(けやき社会センター 広瀬)

今年の3月11日で東日本大震災から丸12年。うちの愛犬も大震災の年に生まれたので12歳を迎え命の尊さを感じています。

震災当日はけやき社会センターで利用者みなさんとパンを作っていました。大きな揺れにただならぬ予感がし、みんなでパン部屋から外に避難した記憶が今でも鮮明に残っていて、この時期が来るたびに思い出します。

そんな中、最近よく話題になっている南海トラフの巨大地震の特集番組がNHKでやることを知り、見逃さない様に視聴予約を行ない釘付けになり見ました。

その数日後に、東日本大震災が起きた際の原発のことがテレビで取り上げられていて、この出来事はfukushima50でも以前に見ていますが、何度見ても、命がけで国民を守っている人たちに感銘を受け、頭が下がる思いでいっぱいになります。災害時に帰宅したくても出来ない職業の方がいて、だからこそ、今の自分たちがいるのだと実感しています。

南海トラフの番組で、「いくら報道が流れても何も響かず、被災した身内などから『無事だから安心して。』と連絡が入り、ようやく安心出来た。」と話している場面や、近所の方同士の助けあいのもと一緒に避難する場面もあり、グループホーム空でも災害時に近所の方と助け合える関係性づくりを怠らず、家族から離れて暮らしているため、災害伝言ダイヤルの使い方をきちんと練習をし、いざというときに活用できるようにしていきたいと思いました。

千葉県でも大きな揺れに見舞われましたが、震源地に住んでいる方々が被った被害や大変さに比べたらその比ではなく、真の怖さを本当には理解出来ていないと思っています。

我が家も「災害に備えないとな～」とどこか他人事になってしまっているところもあるので、そうではなく、いつ自分たちも同じような被害にあってもおかしくないことを念頭に入れて、今一度、防災グッズの見直しや普段から避難訓練を行なうことで、いざというときに自然に行動できるようにグループホームの皆さんと力を合わせていきたいと思いました。

(グループホーム空 竹内)



グループホーム お楽しみメニュー



空では今年から月1回でお楽しみの日を設けています。きっかけは、空の世話人会議で「成人の施設なのでお酒を飲む日を設けてもいいのではないかな」という意見が出た事です。私達も、1週間頑張ったあとに飲むお酒は疲れを取ってくれて翌週の活力にも繋がるので、予算的に毎週とはいきませんが、月1回お楽しみの日を設定して、おおばんのオードブル弁当をつまみにみなさんお酒を堪能されています。

太陽は夜間、世話人が不在になってしまうのと、服薬の量が多い方もいるので、念のためノンアルコールで対応しています。写真や会った時の会話などから空も太陽もみなさん楽しんでるのが伝わってきます。ここ数年、コロナでホーム内での余暇がメインでしたが、コロナの部類が5類に緩和されるので今年は余暇を充実させていきたいと思っています。

(グループホーム空 竹内)



おおばん防災体験外出（そなエリア東京）

おおばんの防災体験を行ったそなエリア東京は、地震発生後72時間の生存力をつける「東京72hTOUR」を中心とした防災体験施設です。ツアーはエレベーターに乗り被災するところから始まり、リアルに再現された被災地でタブレットのQ&Aに答えながら防災について学びました。その後、実際に想定される被災映像や避難所で使用する防災グッズの実物展示を見ました。

また「東京マグニチュード8.0」のアニメ鑑賞や首都直下地震について、なぜ起きるのか？いつ、どのような被害想定なのかの説明や地震発生後生き抜くヒントに備えたいグッズの紹介のコーナー見学も行いました。

他にも、首都直下地震発生時に政府の緊急災害現地対策本部の候補地となるオペレーションルームを見学窓から見る事が出来ました。震災を実際に体験する機会は少ないので疑似体験することで、誰にでもわかりやすく記憶に残る経験となりました。



(おおばん吉田)



就労移行事業所はるか 内定者インタビュー

桜が咲き門出の季節となりました。就労移行事業所はるかでは、県立高校の技能員に1名、チャレンジドオフィスあびこに1名が内定を頂き、卒業されます。

今回はその2人にインタビューをさせていただき、今の気持ちや面接時のこと、後輩への力強いメッセージを頂きました。



○就職おめでとうございます。就職が決まった今の気持ちを教えてください！

Iさん：率直に「よかった、安心した」という気持ちです。家族や以前勤めていた事業所の方も喜んでくださいました。

Yさん：就職が決まって嬉しい気持ちと、準備が大変だなという不安の気持ちの両方ありますが、社会人になれる喜びの方が大きいですね。

○お二人とも毎日頑張って訓練されていました。その中で一番頑張ったことは何ですか？

Iさん：「集団行動」です。私はなんでも一人でやりすぎてしまうところがあり、人に頼ることがなかなか出来ませんでした。しかしそれでは他の方に迷惑をかけてしまう、周囲の成長を妨げてしまうことにはるかの訓練で学びました。自分がすべきこと、他の方をお願いすべき事の線引きを意識して訓練してきましたが、これは就職してからも私の課題であると考えています。

Yさん：「力仕事」です。力仕事に苦手意識があり、どうしても避けてしまいがちでした。しかし苦手な事にも取り組むことが必要と考えチャレンジしました。就職しても苦手な事から逃げずにチャレンジしたいです。

○就職で1番緊張する面接。どうやって克服しましたか？

Iさん：訓練の中で回数を増やし、慣れていくしかないと思います。

Yさん：私も回数を踏んで慣れていくしかないと考えます。面接練習は訓練の中で繰り返し行いました。

○ずばり、あなたにとって仕事とは何ですか？

Iさん：生きていく上で必要不可欠なことです。生活するためにお金は必ず必要になるので、自立した生活のため仕事を頑張りたいです。

Yさん：自分のためにするものだと考えます。(一人の)人間として暮らしていく事はもちろん、仕事を通して自分自身を鍛えることもできます。これから多くの壁にぶち当たるとは思いますが、自分自身の力で乗り越えていきたいです。

○これから就職を目指す後輩たちにメッセージを！

Iさん：失敗を恐れないこと。むしろ自分の意志でどんどん失敗して行ってほしいと思います。はるかでの経験は、人生において必ず役に立つはずですよ。

Yさん：(どんな時でも)普段の自分を貫き通してほしいです。緊張することもあると思いますが、いつもの自分を忘れず、ひとつひとつ積み重ねてほしいと思います。

お二人とも4月3日からお仕事をされています。充実した人生になるよう応援しています！

(はるか 中林)

ふれんず挨拶

新年度がスタート致しました。ご進級・ご入学された方々、おめでとうございます。新しい環境を迎え、緊張や不安な気持ちでいっぱいの方もいらっしゃると思います。ふれんずでは昨年度に引き続き今年度も同じ職員で、利用者の方のペースや個性に合わせてサポートしていきたいと思っております。

昨年度の活動内容としては主に公園活動（夏休み中は水鉄砲や水風船などを使った水遊び等）、室内活動（パズル、塗り絵、カラオケ、トランポリン、アクセサリ作り等）、季節や行事に合わせた活動で同法人内の夏祭りへ参加、ハロウィンパーティーやクリスマス会、芋掘り体験、書初め体験や制作活動、九十九里浜や筑波山に行き自然体験をする等、利用者の方が楽しいと思えるような企画を行ってきました。初めての経験をする方も中にはおり、「楽しかった！」「またやりたい！」等の声を聞くことが出来ました。今年度の活動内容としては主に公園活動、室内活動、宿題等の学習活動、季節や行事に合わせた活動、コロナ禍の状況を見ての判断になりますが外出活動なども増やしていけたらと考えております。

今年度も利用者の方々の「こんな事をやってみたい！こういう場所へ行ってみよう！」等の意見を取り入れながら、ふれんずでの活動を一緒に楽しんでいきたいと思っております。保護者の皆様にはご迷惑をお掛けする場面もあるかと思いますが、安心して頂けるよう職員一同一丸となり利用者の方に楽しいと思って貰えるような事業所にしていきたいと思っております。どうぞ今年度も宜しくお願い致します。

（ふれんず 職員一同）



「福祉で働くようになったきっかけ」

高校卒業後の進路を決める時に何を仕事にしたいか考え、振り返って考えた時に子どもと関わることが好きだったことを思い出して保育の専門学校に通うことを決めました。専門卒業後も保育士として3年間保育園で働きました。子どもと関わって楽しいということだけではなく、ピアノ練習や毎月の制作など苦労したことも沢山ありましたが、得意な事だけではなく苦手なことに対してどのように取り組むか、分からないことへの理解する姿勢など多くのことを学びました。その後、転職の機会がありどうしようかすごく迷いました。当時、保育園で働いている時に担当のクラスではありませんでしたが障がいを持った園児がいました。実習（成人の施設）でしか福祉の経験が無かった私は上手くその子の行動や気持ちをくみ取ることが出来ず、どのようにサポートしてあげれば良いのか分からず保育に悩みを抱えていました。そんな時に福祉施設で働いていた知人に相談して話を聞いたことにより、今まで深く考えていなかった福祉に興味を持ったこと、また人と携わる仕事がしたいと思えました。この2つが福祉の道に進むきっかけになりました。



放課後等デイサービスで働き多くの利用者の方と関わる中で、一人一人の個性を大切にその子にとってのより良い支援を考え向き合うこと、同じ支援ではなく成長・状況によって支援を変えていく臨機応変さと柔軟な対応を学び、私自身も支援員として成長することが出来たのではないかと思います。福祉についての知識を深めて自身のスキルアップも目標にすると共に、ふれんずのことを【楽しい】・【早く行きたい】と思ってもらえるような事業所でいられるように、今後も利用者の方の気持ちを尊重して寄り添い、成長をしていくお手伝いをさせて頂ければと思います。

（ふれんず 塚原）

第4回 作業現場で輝く利用者表彰式



千葉県社会就労センター協議会主催の「作業現場で輝く利用者表彰式」が2月17日、ホテル日航成田で開催されました。

おおばんからは、利用者のリーダー的な役割をはたし作業成果を上げる活躍をしている方に贈られる「輝くリーダー表彰」に増田秀男さん、今後必ずや利用者の中心として活躍すると期待されている方に贈られる「期待の星表彰」に川森あみさんが、日頃作業を共にしている職員の推薦により選出され表彰を受けることになりました。表彰式の数日前からスーツの用意や賞状の受け取り方を何度



も確認していた増田さん、小規模作業所時代のおおばんから長い間作業に従事しています。様々な作業を器用にこなす頼りになるので職員もお願い事が多くなってしまっていますが、嫌な顔一つせず受け止めてくださるので助かっています。

川森さんはいつも元気に明るく作業に取り組んでいるムードメーカーで、大変そうにしている職員や後輩利用者の方に率先して手を貸して下さいます。元気がない仲間がいると背中をさすって声をかけてくれる優しいお姉さんです。二人の頑張りが表彰という形になり嬉しく思っています、本当におめでとうございます。表彰式からおおばんに戻り皆からの祝福を受け、今回表彰を受けることができなかつた方もお二人の姿を見て「来年こそは」と意欲に燃えていました。努力が形になる素敵な表彰式に参加し、受賞者の晴れやかな表情を見ることができて支援者として大きな喜びを感じる1日となりました。

（おおばん 栗原）

けやき社会センターからは「輝くリーダー部門」、「期待の星部門」それぞれ男女1名ずつ選ばれました。



「輝くリーダー」の方は主にパン作業を行っています。パンの成形や計量を正確に行い、また後輩や実習生の方に教えることも得意です。パン作業班ではとても頼りになる存在であり、この表彰を機に更なるステップアップを目指して頂きたいです。

「期待の星」の中村優太さんは、パン作業ときのご作業に入っています。ともに丁寧で確実な仕事ぶりが今回の選出理由となりました。パンでは洗い物や生地丸め、きのこでは収穫、袋詰めなどをいつも快く引き受けてくれます。またけやきの作業だけではなく「喫茶ぷらっと」のスタッフとして接客も担当しています。今後の活躍に期待を込めて表彰されました。

表彰式では、一人一人名前が呼ばれ、ステージ上で表彰状を授与されました。その後の記念撮影では笑顔でしたが、会食の時はまだ緊張している様子でした。帰りの車中でようやく緊張も解け、疲れとほっとした表情が見られました。ふたりはけやきに着くと満面の笑みで職員皆に表彰状と記念品を見せ、報告していました。来年度もチャンスはあるので他の皆さんも表彰を目標に一緒に仕事をがんばりましょうね。

（けやき社会センター 武藤）

おすすめを教えてください!

スクワッドのふくろ
くろ
川森あけ

スケジュールがんりは
てちよとスヌホ
がオススメです!!
増田 日夕子

たぶろりーし
もろにんずおん 高橋子
りうしく 日本
ていせがー
にたてこもろいね

かやのゆうた
カール

安くておいしいコピヤンがオススメ
宮川

僕のオススメは
同窓日寺言十の
ツチツニです。
小菅 葵陽

中井のやろ名探偵ツチの
劇場ばい 見て見ん! 太史
人! 喜歌の 森山直太郎の
(てい 抱擁) 大好き。
ツチツニの 楽隊!
佐藤めぐみ

ごけん
かほ
福田 旬希

おいしい豆乳がおすすめ
榎本 智子

オススメはアニメの「Buddy and
Daddys」というアニメです。
オマケでヒトカがいてとても良い。一回見
ればわかる。全話見ましょ。
武田 和真

フラッシュバックしてしまふおま
のかいせきりやうりのみせ
もりやのサレタール のけい
おいしいです。
えいこ

ほしのカーニバルアライズ
ももこりす

福島県人のソウルフード(ホウキ?)
酪王カネホ!!
おまけでヒトカも「一番うまい」と
言ってくれます。
チホーが売ってます!! おおはら 智澤

レモン牛乳
栃木県で売っている飲み物です。
良い意味で予想を裏切ったおいしいです。
日光に行ったらぜひ!!
中林 佑樹

映画 スラムダンクが
本当に良かったので。
泣けます!
進藤

映画
『ファイリグ』スルー
18分のショート映画です!
ふたご 日井